

ISSN1881-7017

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2012/2013

九州大学附属図書館年報 2012/2013

CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際交流	10
利用説明会・講習会	11
新規コレクション／九州大学学術情報リポジトリ(QIR) ..	12
研究開発室	13
職員研修	14
統計	15
附属図書館の組織	21
人事異動	23
出版物／貴重資料の学外展示・掲載・放映 ..	24
図書館日誌	25



附属図書館長

川本 芳昭

はじめに

周知のように、先般の東日本大震災は多くの根源的な問題を我々に投げかけ、またその影響はきわめて大きなものとして、いまも深く広く及んで来ております。一方で、我々を取巻くグローバル化の流れは、我が国のあり方そのものに大きな変容をもたらして来ております。

大学図書館も当然のこととして、その枠外に存立することはできず、大きな変容がもとめられ、また内からの変革が実行されて来ております。

本学の図書館はそうした潮流を踏まえ、これまで国際的にも先進的な数々の試みを実施、展開してまいりました。昨年度は、そうした自己改革の一つとして設置しましたライブラリーサイエンス専攻に、博士課程設置が認可され、この4月より新入生を迎えることが出来ました。この専攻設置の一つの目的は、時代の要請に応えた専門的スキルを身につけたサブジェクト・ライブラリアンなどの養成という点にあります。先年の修士課程の設置、および今回の博士課程設置を以って、ようやくその目標達成が制度的に可能となる体制を構築できたと喜んでおります。

また、先年図書館付設の組織として教材開発センターが設置されましたが、そこに今回新たに専任教員(教授)が配置されました。今後はこれまでの活動に加え、質的な活動の飛躍が、実現可能となります。図書館との連携とともに、来年度より全学教育として開始される基幹教育との連携も視野に入れた、大学における学習・教育支援の一層の充実が期待できる体制が構築されたといえるでしょう。

また、昨年度まで23年度より2年間の計画で取り組んできた「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」プロジェクトが実施されましたが、その成果として生まれた学生サポーターCute.Supporters(通称Cuter)制度が4月より本格的に活動を開始するようになり、図書館における学習支援の幅が、また一段と充実してまいりました。その一環として、ウェブ上で教材を作成できるLibGuidesを導入、Cuterや教員とともに授業ガイド等を作成し、公開したことも前年度における特記すべき活動であったといえます。

そのほか、ビブリオバトルの実践、学生に新聞や活字に親んでもらうことを目的として実施した「よみサポプログラム」等も記憶に新しいところです。この試みは、読売新聞社との連携のもとに行った事柄ですが、その連携を生かし、池上彰氏を招いてのフォーラムを図書館が主となって開催いたしました。今後の図書館による学習・教育支援のあり方を考える上で貴重な経験となった試みでした。

また、昨年より実施した世界中の膨大かつ多様な学術情報資源から有用なコンテンツを迅速に見つけ、アクセスできる、ディスカバリ・サービスの運用を踏まえた図書館ウェブサイトのリニューアル、九州地区の大学図書館との連携になるLibrary Lovers、近年増加した留学生に向けての図書館ツアー実施、インターンシップおよび職場体験実習の実施などの活動も行われ、現在の大学図書館に何が求められ、何を実施して行くかの理解が一層深まってまいりました。

なお、昨年度の年報でも申し上げた中央図書館の移転を巡る動きは、いよいよ本格的なものとなって来ております。新中央図書館は、今後100年の九州大学における学習・教育・研究・情報面での一つの大きな核であり、枠組みとなるものですが、今年度はそのことを肝に銘じ行動することが一層求められる一年となると思われま

Topics

初年次教育と連携した授業への取り組み

学生の読む力・伝える力の向上や、興味・視点の拡大、読書推進等を目的として、附属図書館と初年次教育を担当する教員、及び活字文化推進会議*と連携した授業実践「よむ・つたえる」に取り組みました。

◆一年生コアセミナーにおいてビブリオバトルの実践

法学部、農学部及び21世紀プログラムの各1クラスのコアセミナー(全学教育1年次前期必修科目)の授業で、ビブリオバトル*の実践を下記のとおり行いました。

- ・21世紀プログラム 練習試合+トーナメント+決勝戦 計6回(一人最低2回は発表)
- ・法学部 政治学の古典・名著を紹介 (第8回目の授業)
- ・農学部 導入編(テーマ:世界)+実践編 計3回(一人2回発表)

受講学生へのアンケートによると、特に興味・関心の拡大、コミュニケーションの円滑化に効果が大きかったことが窺えました。また、2回目の発表では各人に変化が見られ、自分の言葉で伝えることの難しさや楽しさを感じた学生が多かったようです。21世紀プログラムの決勝戦及び農学部の実践編は、それぞれ嘸鳴天空広場(伊都)、中央図書館きゅうと commons(箱崎)で公開授業として行われ、学生たちには大きな刺激となったようでした。(本取り組みの詳細は、『附属図書館研究開発年報2012/2013』で報告予定)



21世紀プログラムのビブリオバトル決勝戦(嘸鳴天空広場にて)



農学部のビブリオバトル実践編(中央図書館きゅうと commonsにて)

◆よみサポプログラムに参加

読売新聞社による、大学生に新聞を無償で提供する「よみサポプログラム」に九州大学として参加しました。本プログラムは、より多くの若い人に新聞や活字に親んでもらうことを目的としているもので、公募で選ばれた80名の九大生が半年間、新聞が毎日届く生活を体験しました。

◆新聞を活用したゼミ

上記プログラムを利用し、21世紀プログラムにおいて新聞を活用したゼミを後期に実施しました。ゼミの前半では、読売新聞社から講師を招き、新聞の作られ方、記事の書き方などについてのレクチャーを行いました。

◆公開授業として、池上彰氏を招いてのフォーラムを開催

25年1月26日(土)、分かりやすいニュース解説でおなじみのジャーナリスト池上彰さんをお招きし、「何のために学び、何のために伝えるのか」と題したフォーラムを開催しました。附属図書館と活字文化推進会議の企画運営により、九州大学及び同会議の主催で実現したもので、21世紀プログラムのゼミの公開授業としても位置付けました。

第1部の講演では、東京工業大学リベラルアーツセンター教授として教壇に立つエピソードも交えながら、文系理系を問わず幅広く教養を身につけることの大切さ、既存の枠組みにとらわれることなく自ら問いを立てることの重要性についてお話しいただきました。



第2部では、九州大学21世紀プログラムの6名の学生が登壇し、池上氏とのディスカッションに挑みました。

学生からのどの質問にも切れのよい的確なアドバイスをいただき、時折「そんなことは自分で考えなさい」と手厳しく切り返しつつ、「そうやって悩み、迷うのが大学生の姿」と叱咤激励されました。

フォーラムには、市民も含め約1,800人が参加。九州大学をはじめ近隣の大学生、高校生が半数を占め、池上氏ご自身の体験と深い洞察に基づく分かりやすいお話に、みな真剣に耳を傾けていました。

「社会に出てからもあらゆるところで学ぶことができる。学ぶことの喜びを知り、生涯学び続けてほしい」というメッセージで、2時間半のフォーラムは締めくくられました。



21世紀プログラムの学生とのパネルディスカッションの様子

◆今後の展望

24年度の取り組みの検証を踏まえ、25年度はより高い効果を目指した実践に取り組むとともに、九州大学基幹教育カリキュラムの26年度開始を見据え、図書館と教育との新たな連携のあり方を検討していきます。

*活字文化推進会議・・・読売新聞社が出版関係業界と協力して発足、本や新聞などの活字文化を守り育てるための「21世紀活字文化プロジェクト」を展開している。 <http://katsuji.yomiuri.co.jp/>

*ビブリオバトル・・・「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」をコンセプトとした、本を用いて人と人を繋げ、人と知識を繋げる、知的遊戯。各人5分間で本を紹介したのち、2~3分間のディスカッションを行い、最後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

教育の質向上支援プログラム(EEP)「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」

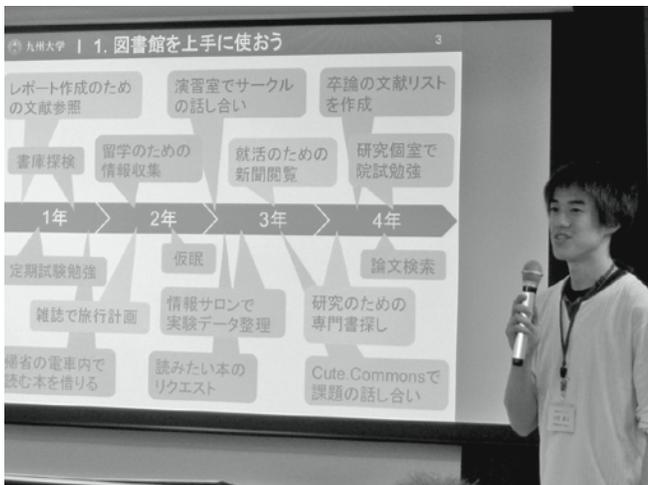
統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻および付設教材開発センターとともに23年度より2年間の計画で取り組んできたEEP「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」プロジェクトが3月で終了しました。

同プロジェクト経費で雇用した学生サポーターCute.Supporters (Cuter)は4月より本格的に活動を開始し、新入生向け大学図書館活用セミナーでは学生目線での図書館活用法を伝えたり、パソコン操作のサポートをしたりと活躍しました。また、各人の提案による展示やくずし字の講習会などの企画も実現しました。中央図書館ではサービス関連カウンターの一元化にともなって、従来のレファレンスカウンターはCuterによる「学習相談」デスクとなりました。25年度以降も、パソコン必携化対応

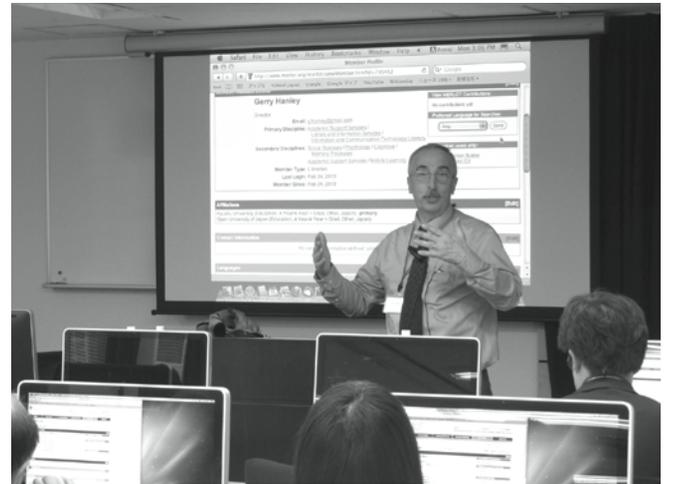
を含めた図書館における能動的学習支援の要として、職員とCuterとの協働を継続する予定です。

また、ウェブ上で教材を作成できるLibGuidesを導入し、Cuterや教員とともに「線形代数」「国語学・国文学授業ガイド」などの資料ガイド等を作成し、Cute.Guidesというサービス名で3月末に公開しました。

EPPの取り組みの一環として、25年2月24・25日には、大学評価・学位授与機構の土屋俊教授やカリフォルニア州立大学のGerard L. Hanley氏らをお招きし、「MOOCsと電子図書館のための国際セミナー」と題したセミナー及びワークショップを放送大学と大学ICT協議会と共同で開催しました。



大学図書館活用セミナーで説明する工学府学生



Gerard L. Hanley氏によるワークショップ

図書館ウェブサイトリニューアル

25年3月、附属図書館ウェブサイトのリニューアルしました。学習・教育・研究をウェブ上でも支援するため、構成を全面的に見直し、利用者がサイトを使う目的に合わせて「探す・調べる」「図書館を使う」「マイページ」の3つの入り口を設けました。

探す・調べる

図書館の蔵書や、論文など学術資料を検索するときに使います。

図書館を使う

図書館に行くときに、開館時間や利用案内、ニュースを確認できます。

マイページ

貸出の延長や演習室の予約などのオンラインサービスはすべてここから利用できます。

また、全体を九大らしい、アカデミックな色味で統一し、よりシンプルでわかりやすいデザインとなっています。サイト全体へのログインにより、学外からの契約データベースへのアクセス(従来のどこでもきゅうとサービス)や、貸出更新や施設予約等、認証の必要なサービスのシングル・サインオンが実現しています。近年急激に利用が増えてきたスマートフォンでの表示に対応しているため、いつでもどこでもウェブサイトアクセスし、学術情報や図書館のサービスに触れることができます。25年末に更新を予定している図書館システムとのスムーズな連携も視野に入れ、これからもウェブサイトの機能を発展させていく予定です。



スマートフォン表示に対応

Topics

新入留学生向け図書館ツアーを実施

九州大学では近年、留学生の学習支援強化に重点的に取り組んでいます。24年度前期は4月19日と20日、後期は10月1日、4日、5日の日程で、中央図書館において新入留学生向けツアーを開催しました。24年度前期までは、英語と日本語による30分程度の館内ツアーと新入留学生と先輩留学生が交流するランチイベントを開催していましたが、後期はより多くの留学生に来館してもらうべく、内容も開催時期も大幅に見直し、以下のとおり実施しました。

- ① 短期留学生(JTW、JLCC)77名全員への図書館ツアー
- ② 農学部・生物資源環境科学府の新入留学生57名全員への簡単なガイダンス

③ Library Tour for International Students

- ・【案内編】図書館の基本的な使い方、国際交流コーナーを紹介
 - ・【検索編】電子ジャーナル・データベースの紹介やILLを紹介
- これらのツアーの実施により参加者は計161名となり、23年度50名、24年度前期の20名から大幅増となりました。国際部の担当部署や各部署の教員・学生係と連携し、留学プログラムに応じた適切なガイダンスを実施したことが功を奏しました。

新中央図書館計画と伊都キャンパスへの移転にむけた動き

29年に伊都キャンパスの文系地区にオープン予定の新図書館について、これまで「新中央(文系)図書館(仮称)」としていましたが、附属図書館商議委員会での審議の結果、正式名称を「中央図書館」とすることが決まりました。(現在の中央図書館が存続している間は「新中央図書館」と呼称します。)

24年度は、新中央図書館の建設予定地である伊都キャンパスの文系地区の基本設計を行うため、附属図書館を含む学内関係部署の委員により構成される文系地区基本設計検討コアチーム(以下、コアチーム)が組織され、検討が行われました。

検討の結果、新中央図書館は、文系地区とセンターゾーンをつなぐ斜面に4層の施設として整備され、大学のキャンパスモールを施設内に

取り込む特徴的なデザインとなる予定です。また、25年度に竣工予定の椎木講堂に隣接して、九州大学を象徴する景観を構成することが期待されています。

附属図書館では、22年度より組織されている新中央図書館基本計画ワーキンググループを中心に、これからの大学図書館に求められる学修スペースや、膨大な資料の館内での適切な配置、サービス体制などの検討を引き続きすすめていきます。

今後、27年度の理学系の移転を皮切りに各部署が順次箱崎キャンパスから伊都キャンパスへ移転します。それにあわせ附属図書館における移転にむけた動きもいよいよ本格化していくこととなります。



工学系地区より伊都キャンパス東側を望む(2012年5月撮影)

医学図書館に学習室を整備

24年11月、医学図書館2階に計18席の学習室を整備しました。固定机のほか、移動式のテーブルやホワイトボードを備え付け、定期試験や国家試験の準備など、学習目的の利用が特に多い医学図書館において、充実した学習環境を提供できるようになりました。



通常の学習室

この学習室は、展示スペースとしても利用できるよう整備されていることから、開室にあわせ、九州大学の医学者であった 橋本 策(はかる)氏の功績を紹介する展示が開催されました。



「橋本病」発見から100年 橋本 策 博士 パネル展
平成24年11月1日～25日

インターンシップを実施

◆大学生のインターンシップ受入

24年度は統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻(LSS)から、インターンシップの大学院生4名を受け入れました。図書館から取り組んでもらう事例を複数提案し、その中から受講生が希望するものを選択する形式を取り、担当する職員の個別指導を受けながらそれぞれが課題に取り組みました。

また、本学の全学教育科目「九大インターンシップ」の学生2名を2週間にわたり受け入れました。業務体験のほか、各キャンパスの図書館見学、資料保存研修への参加、学生サポーターとの交流などを通じ、さまざまな刺激を受けたようです。利用者サービスに関する企画書作成にも取り組んでもらい、学生ならではの視点による提案には職員も新たな発見があったようです。



自ら考えた企画を提案するインターンシップ生

付設教材開発センターの活動

23年4月に設置された付設教材開発センターは、24年9月、旧工学部本館3階に教員室と技術開発室を開設しました。現在、センター長1名、専任教員1名、テクニカルスタッフ5名、協力教員2名、事務補佐員1名の体制で、25年度から始まる実教材開発に向け整備を行っています。

さらに教員の電子教材開発サポートを積極的に実施しており、24年度も各キャンパスで各種講習会を行いました。



電子教材開発サポートのための講習会

展示会・講演会 Exhibition & Seminar

九州大学百年記念行事 第53回附属図書館貴重文物展示「九州大学百年の宝物—附属図書館貴重資料コレクション—」

【期 間】平成24年 5月16日(水)～5月22日(火) 10:00-17:00
 【会 場】中央図書館 2F自由閲覧室
 【主 催】九州大学附属図書館
 【来場者】775名

今回の展示は、九州大学百年記念事業の一環として、23年に引き続き、附属図書館が誇るコレクションの中から、国指定重要文化財「大和物語」の写本をはじめ、選りすぐりの約30点を展示しました。



今回は展示会場が学外であったため本学学生の観覧が少なかったことから、24年度は多くの学生の興味をひきつけることに主眼をおいて開催しました。ある学生は「九大の知の蓄積を見ることで歴史ある大学で勉強できることのありがたさや誇らしさを再認識できた」と感想を残しています。

今回、初の試みであったギャラリートークでは、6人の先生に各コレクションについて日替わりでお話いただきました。例年の講演会と比べてより近い距離で先生の解説を聴くことができたことから、参加者からは積極的に多くの質問が出され、和やかな雰囲気でお楽しみいただけました。また、ギャラリートークを聴くために毎日のように来場される方もいらっしゃいました。

5月12日(土)に挙行された九州大学開学百周年記念式典および箱崎キャンパス公開では、旧工学部本館にて特別展示を行ない、全国各地から来学された卒業生の方々、地域の皆さまに当館所蔵の貴重資料をご覧いただく機会となりました。

展示会のパンフレットは、iTunes U コース「九州大学百年の宝物—附属図書館貴重資料コレクション—」で、iBooks Authorで作成したiBooks形式の電子書籍や、リーフレットのPDFをダウンロードして閲覧することができます。また、期間中に行われたギャラリートークのビデオも一部公開しています。

九州大学iTunes U <http://itunes.icer.kyushu-u.ac.jp/>



ギャラリートークの様子

Library Lovers'キャンペーン2012

【期 間】平成24年10月22日(月)～11月19日(月)
 【会 場】各キャンパスの図書館・室

九州地区大学図書館共同の「Library Lovers'キャンペーン」。3年目を迎えた24年度は、九州地区大学図書館協議会の事業として開催しました。24年の参加館共同イベント「本で、旅する。—九州文学地図—」(九州が舞台・ゆかりの小説の紹介文を地図上に貼りつけるもの。Googleマップでも展開した)および「九州地区大学図書館貸出ランキング」のほか以下の本学オリジナルイベントを実施しました。

●キャンペーン特製しおり「あなたのデザイン、しおりにします!」

24年度はしおりのデザインを学生からの公募により作成しました。

●本のリユース～私の本をあなたの本に～

好評につき、23年度に引き続き実施。読み終わった本で「他の人にも読んでほしい」本の交換場所を設置しました。

●本の洋服屋さん

クリアファイルや紙袋を使用した簡単なブックカバーの作り方を紹介。

●あなたはどのタイプ?読書適性診断

おすすめの図書を紹介するフローチャートを作成、掲示。

●「立入禁止」の向こう側～中央図書館研修体験～(バックヤードツアー)

図書館学習サポーター発案の企画。大学図書館への理解を深めることを目的としたバックヤードツアー。



合同キャンペーンポスター

講演会「ディスカバリ・サービスの導入と新たな基盤整備」

【日時】平成25年2月22日(金) 13:15 -17:15
 【会場】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール
 【主催】九州地区国立大学図書館協会
 【後援】九州地区大学図書館協議会
 【参加者】76名

学術研究分野においてWeb上での電子的な学術コンテンツ利用が一般的となり、膨大な資料から目的とするコンテンツを即座に見出せるディスカバリ・サービスが注目を集める昨今の状況を鑑み、ディスカバリ・サービスのメリット及び導入方法、さらには今後大学図書館の目指すべきサービスの方向性をテーマとする講演会を開催しました。

日本国内における先行的導入事例である、佛教大学図書館および九州大学附属図書館のディスカバリ・サービスについて、各館の実務担当者が実体験や利用動向の分析に基づく事例報告を行ったことで、参加者からは、「サービス導入に際しての具体的なイメージを持つことができた」との意見が寄せられました。また、パネルディスカッションにおいては、

ディスカバリ・サービスの先行導入館と導入予定館の担当者間で、率直な意見交換がなされ、参加者は熱心に聞き入っていました。ディスカッションの終盤では、国立情報学研究所の尾城氏より、「ディスカバリの先にあるもの」と題する話題提供がなされ、参加者各人が、大学図書館の新たな役割に思いを馳せる契機となりました。

全国の大学図書館関係者や企業等から、計76名の来場があったほか、当日の講演会の様子はUstreamを用いてインターネット中継されました。

【プログラム】

- 13:15-13:20 開会挨拶
- 13:20-14:05 【講演】「電子情報環境下における新たな基盤整備に向けて」
尾城孝一氏(国立情報学研究所)
- 14:05-14:50 【事例報告1】「導入事例から考えるディスカバリ・サービス」
飯野勝則氏(佛教大学図書館)
- 14:50-15:35 【事例報告2】「ディスカバリ・サービスを導入(構築)するには」
片岡 真(九州大学情報システム部)
- 15:55-17:10 パネルディスカッション
- 17:10 閉会挨拶

常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、24年度は以下の展示を行いました。

●Islamic Culture –イスラム文化に親しむ–(H24.4.2~5.2)

23年度に引き続き、九州大学ムスリム学生会の主催で中央図書館にて開催した「イスラムウィーク」に関連して、日本人学生向けにイスラム文化やイスラム教を紹介した展示(学生による企画)

●江戸の暦と天文学–桑木文庫の科学史資料より–(H24.5.10~6.29)

貴重文物展示に関連して、桑木文庫(九州大学工学部教授であった桑木或雄(くわき・あやお)博士が蒐集したコレクション)のなかから江戸時代の暦と天文学に関する資料を展示

●図書館発!世界を旅するガイドMAP(H24.7.10~7.31)

図書館学習サポーターによる企画。留学を経験した九大学生や、本学在籍の留学生が、訪れた国/出身国について、現地の体験を紹介。



●徹底解剖! 21世紀プログラム(H24.8.3~9.30)

21世紀プログラムの紹介パネルと、同プログラム1年生がコアセミナーの授業で作成したビブリオバトル紹介本のPOPを展示

●古典の扉を開く–くずし字を読む–(H24.10.4~11.30)

11月1日の「古典の日」にちなんで、くずし字の解説パネルとともに百人一首や竹取物語、枕草子、徒然草の和本を展示。学生に有名な和歌、冒頭の文章の翻刻に挑戦してもらった。

●東日本大震災から学ぶこと、今の自分にできること(H25.2.13~3.26)

本学大学院生物資源環境科学府の実践型教育「異分野コミュニケーション実践論」の講義成果の紹介。東北を訪問し、現場を直視するとともに各機関でのインタビューをポスターにまとめて展示した。

●みちのく photo caravan~東北のキセキ~(H24.5.28~6.1)

復興支援を行う日本最大の学生団体Youth for 3.11から生まれた「みちのくcaravan」による、全国各地の大学をめぐる東日本大震災写真展ツアー。

「多くの人に見てもらえる場所」として学生から企画の持ち込みを受け、九州大学では中央図書館3F回廊で開催されました。展示期間は1週間と短い期間でしたが、写真展を目的に来館する一般市民の方もおり、代表学生が新聞取材を受けるなど関心の高さがうかがわれました。来場者は皆、涙を浮かべながら真剣に写真に見入っていました。



展示会・講演会 Exhibition & Seminar

学術情報セミナー「進化する学術情報サービスと高まる図書館の役割」

【日 時】平成24年7月3日(火) 12:50-17:15
 【会 場】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール
 【主 催】九州大学附属図書館、株式会社サンメディア
 【後 援】九州地区大学図書館協議会
 【参加者】64名

近年、電子媒体での学術情報の流通が盛んになり、学術情報の生産量が加速的に増加する中で、多様な学術情報のなかから的確かつ迅速に有用なコンテンツを探し出すサービスは、研究者のサポートを行う大学図書館や企業のリサーチ部門にとって益々重要になってきています。本セミナーでは、このように進化する学術情報サービスとそれに伴う図書館の役割について参加者とともに考察しました。

【プログラム】

13:00-13:30 セッション1「大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)の1年-課題と展望」
 守屋文葉氏(大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)事務局)

13:30-14:10 メインセッション「ウェブスケールディスカバリーサービス[Summon]—最新情報とユーザー会報告」
 ○Summonのご紹介 SerialsSolutions / 株式会社サンメディア
 ○Summon Japanese User Meeting in Seattle
 片岡 真(九州大学情報システム部)
 14:15-14:30 事例報告1「OPACのその先へ」
 原野綾子氏(筑紫女学園大学・短期大学部附属図書館)
 14:30-14:45 事例報告2「ライブラリアンの力を発信しよう!—LibGuidesを使った学習支援の一例」
 工藤絵理子(九州大学附属図書館 eリソースサービス室)
 14:45-15:00 事例報告3「ディスカバリーサービスの利用経験から」
 恵村奈都美(九州大学大学院生)
 15:05-16:15 出版社「学術情報のトレンドと最新情報」
 16:30-16:55 セッション2「ここまで来た「学認」の輪—学術認証フェデレーションについて」
 国立情報学研究所学術情報ネットワーク運営・連携本部 認証作業部会 学認タスクフォース
 大谷 誠(佐賀大学総合情報基盤センター)
 別府妙子(九州大学附属図書館 eリソースサービス室)
 16:55-17:10 e-Port UpDate
 17:10-17:15 閉会

図書館セミナー「Power of Library ~大学図書館のパワー~」

【日 時】平成24年7月4日(水)
 第一部 10:30-12:30、第二部 14:30-17:15
 【会 場】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール
 【主 催】九州大学附属図書館、エルゼビア・ジャパン株式会社
 【後 援】九州地区大学図書館協議会
 【参加者】第一部 62名、第二部 53名

本セミナーは、米国よりゲストスピーカーをお招きし、二部構成で開催しました。第一部では、管理者向けのディスカッションミーティングの場を設け、活発な意見交換が行われました。第二部では、米国における具体的事例の紹介や、質疑応答を通じ、図書館と図書館員が目指すべき図書館のあり方について考えました。

【プログラム】

第一部 今求められている図書館経営
 10:35-11:05 「大学経営陣への図書館の貢献」
 Paula Kaufman氏(イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校図書館長兼図書館部長)
 11:05-11:35 「大規模研究大学における図書館の役割」
 Brenda L. Johnson氏(インディアナ大学ブルーミントン校図書館部長)
 11:35-11:55 「大学経営の中での図書館の貢献:九州大学の事例」
 川本芳昭(九州大学附属図書館長)
 12:00-12:25 Q&A・ディスカッション
 第二部 これから求められる図書館像
 14:35-15:10 「統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻の目指すものとは」
 石田栄美(九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻准教授)
 15:10-15:50 「海外事例(1) インディアナ大学の場合:教員との連携」
 Brenda L. Johnson氏
 16:00-16:40 「海外事例(2) イリノイ大学の場合:研究支援」
 Paula Kaufman氏
 16:40-16:55 Q&A・コメント
 16:55-17:10 エルゼビアと図書館のパートナーシップ活動のご紹介

芸術工学図書館セミナー

◆視覚的順応と錯視

【日 時】平成24年7月27日(金) 16:00-17:15
 【会 場】芸術工学図書館3階研究セミナー室
 【講演者】伊藤 裕之(芸術工学研究院デザイン人間科学部門准教授)
 【来場者】32名

本セミナーでは、視覚的順応に関する現象及び、視覚的順応と錯視との関連について、最新の研究内容が紹介されました。
 視覚的順応の事例としては、色順応のように短期的に生じるものから、逆さメガネなどの長期的な時間を必要とするまで、様々なものがありいくつかのサンプルが示されました。

◆「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録に向けての映像制作活動

【日 時】平成25年1月31日(木) 16:00-17:30
 【会 場】芸術工学図書館3階研究セミナー室
 【講演者】金 大雄(芸術工学研究院コンテンツ・クリエイティブデザイン部門准教授)
 【来場者】40名

本セミナーでは、ハイビジョン映像や4K映像、3D映像を使って「宗像・沖ノ島と関連遺産群」が持つ魅力と文化的価値を発信する活動について紹介されました。講演後、この活動により制作された映像がセミナー会場で上映されました。上映後、世界遺産登録に向けての課題等について、活発な質疑応答がありました。

図書館間交流協定

◆イリノイ大学図書館と交流協定締結

24年9月14日、アメリカのイリノイ大学アーバナ・シャンペン校図書館と、新たに学術交流協定を締結しました。イリノイ大学アーバナ・シャンペン校は、図書館情報学分野の先進的な研究で知られており、今後密接な協力体制の下に交流を深めてゆく予定です。

【協定締結に至った経緯】

23年1月に、イリノイ大学工学図書館長のWilliam H. Mischo氏が九州大学を来訪した際、図書館職員と打ち合わせを実施したことに端を発し、その後、有川節夫九州大学総長のイリノイ大学訪問等を経て、協定締結が実現しました。7月4日に開催したセミナー「Power of Library」には、イリノイ大学図書館長Paula Kaufman氏がスピーカーとして来訪され、川本芳昭図書館長との懇談もおこなわれました。

【今後の展望】

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I2CNER)をサービス対象とし、研究者用のツールの提供、ドキュメントデリバリーサービス、機関リポジトリへの登録支援等で、相互連携を進める予定です。



イリノイ大学図書館長Paula Kaufman氏と川本館長

◆トロント大学図書館との交流協定延長

19年12月25日にカナダのトロント大学図書館と締結した5年間の学術交流協定を延長しました。今後も図書館サービスや、電子情報資源の活用等において、密接な協力関係を継続します。

交流協定図書館との資料交換(平成24年度)

九州大学→ソウル大学校 九州大学出版会図書18冊を寄贈
教員寄贈図書1冊を寄贈
九州大学→慶北大学校 九州大学発行の紀要11冊を寄贈

ソウル大学校→九州大学 ソウル大学校出版会図書83冊を受贈
ソウル大学校奎章閣図書11冊を受贈

海外との往来

一 来訪一

・インディアナ大学図書館
【日 程】平成24年7月4日
【訪問者】Brenda L. Johnson氏(ブルーミントン校図書館部長)
【目 的】セミナー「Power of Library」のスピーカーとして

・イリノイ大学図書館
【日 程】平成24年7月4日
【訪問者】Paula Kaufman氏(イリノイ大学アーバナ・シャンペン校図書館長兼図書館部長)
【目 的】九州大学附属図書館との交流協定締結に関する協議セミナー「Power of Library」のスピーカーとして

【日 程】平成25年2月1日
【訪問者】William H. Mischo氏(アーバナシャンペン校工学図書館長)
Mary C. Schlembach氏(アーバナシャンペン校工学図書館員)
【目 的】九州大学との連携に関する打ち合わせ

・全南大学校図書館
【日 程】平成24年8月30日
【訪問者】姜 鳳女氏(課長)、崔 淑京氏(司書)
【目 的】伊都図書館見学、および業務に関する意見交換

一 往訪一

【訪問者】星子 奈美(図書館企画課企画係)
【日 程】平成24年6月7日～6月10日
【訪問先】アメリカ イリノイ大学アーバナ・シャンペン校
【目 的】図書館間交流協定に係る事前打ち合わせ

【訪問者】片岡 真(情報システム部情報基盤課専門職員)
【日 程】平成24年6月20日～6月27日
【訪問先】アメリカ アナハイムコンベンションセンター
【目 的】Serials Solutions のAdvisori Boardミーティング出席、American Library Association 2012 Annual Conference 参加

【訪問者】渡邊 由紀子(附属図書館eリソースサービス室長、講師)
【日 程】平成24年11月11日～11月15日
【訪問先】台北・高雄 國立臺灣大學及び國立中山大學
【目 的】International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL 2012)出席、および國立中山大學傳播管理研究所訪問

利用説明会・講習会 Library Workshops

利用者が学習・研究を行う上で必要な文献や情報を、効率よく探し出し活用できるよう、様々な講習会を開催しています。24年度は、「大学図書館活用セミナー」で学生サポーターとともに講義やツアーを実施するなど、学習支援に学生の視点を取り入れる試みを開始しました。

●利用説明会

データベース提供元からの講師や図書館職員が、それぞれの検索ツールの詳しい使い方を紹介する利用説明会を随時開催しています。24年度は、図書館職員による「文献入手法」といったより利用者のニーズに沿った内容で利用説明会を開催し、参加者より好評を得ました。

内容	講師	言語	回数	人数
CiNii、JDreamII(日本語論文)	図書館職員	日	3	32
JCR	提供元	日	2	26
LexisNexis	提供元	日英	4	19
Mendeley	研究者/図書館職員	日英	1	7
PubMed	図書館職員	日	4	59
PubMed、医中誌Web(医学系DB)	提供元/図書館職員	日	2	21
RefWorks/文献整理法	図書館職員	日英	10	88
SciFinder	提供元	日英	10	139
Scopus	提供元	日英	7	86
UpToDate	提供元	日	4	20
Web of Science	提供元	日英	5	55
医中誌Web	提供元	日	2	11
文献入手法	図書館職員	日	6	111
		計	60	674

●オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程、内容等を設定し、図書館職員が講師となって行うものです。ほとんどが授業の一環として行われており、授業と連携した学習・教育支援として重要な活動になっています。受講者数は昨年度より113名増加しました。

対象	回数	人数
経済学部	7	122
理学部	1	12
医学部・医学系学府	11	329
薬学部	1	3
工学部・工学府	4	169
農学部・生物資源環境科学府	3	37
農学部(G30)(英語)	2	16
全学教育、21世紀プログラム	4	290
比較社会文化学府	1	9
人間環境学府	1	14
統合新領域学府LSS専攻	2	11
健康科学センター	1	7
計	38	1,019

●大学図書館活用セミナー(新入生図書館ガイダンス)

全学教育科目の一つであるコアセミナーの講義時間などを使って、新入生に図書館活用法を案内するもので、18年度から実施しています。24年度は、内容の改訂からセミナーでの講義やツアーの実施まで、学生サポーターと図書館職員が協働で行いました(全59回中23回)。また、インタラクショナル・デザインの考え方を取り入れ、クリッカー(小型レスポンス端末)を利用した講義も試行しました。

対象	回数	人数
文学部	10	165
教育学部	1	50
法学部	6	111
経済学部	6	105
理学部	7	293
医学部	4	260
歯学部	1	53
薬学部	1	87
工学部	9	825
芸術工学部	5	206
農学部	6	236
21世紀プロ	1	10
数理学府	1	75
学士課程国際コース G30(英語)	1	13
計	59	2,489

また、23年度から引き続き留学生支援に力を入れ、英語による利用説明会やオンデマンド講習会を実施しています。今後は、学生との協働をさらに発展させながら、図書館の学習・教育支援、研究支援をより質の高いものにしていきます。

平成24(2012)年度実績

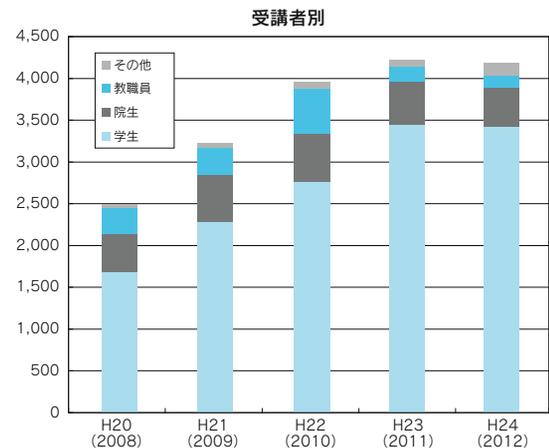
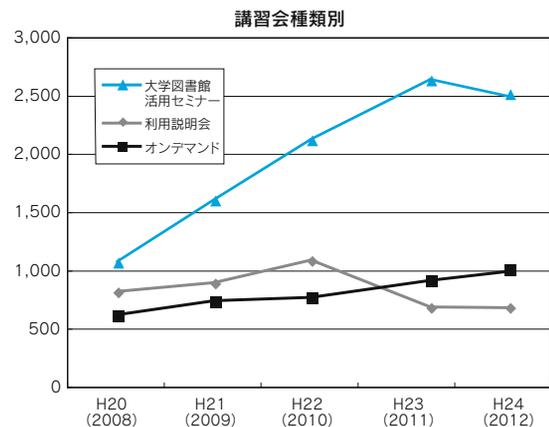
講習会種類別

会場	利用説明会		オンデマンド講習会		大学図書館活用セミナー		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
箱崎(文系・理系)	32	297	15	209	37	965	84	1,471
伊都	9	127	10	471	11	918	30	1,516
病院	17	235	12	332	6	400	35	967
大橋	1	6	0	0	5	206	6	212
筑紫	1	9	1	7	0	0	2	16
計	60	674	38	1,019	59	2,489	157	4,182

受講者別

会場	教職員	院生	学生	学内その他	学外者	計
箱崎(文系・理系)	46	183	1,220	6	16	1,471
伊都	28	137	1,310	41	0	1,516
病院	93	126	650	46	52	967
大橋	2	1	209	0	0	212
筑紫	2	14	0	0	0	16
総計	171	461	3,389	93	68	4,182

参加者数の推移



新規コレクション

◆ 大型図書資料

人文社会学分野の研究資料の充実のため、大型図書資料として以下の3点を購入しました。

● ドイツ保守革命とその思想的背景—ナチス台頭の思想的・社会的背景—

19世紀はじめに保守主義思想の標榜者の一人Carl Ludwig von Hallerをはじめ、Ernst Moritz Arndt, Friedrich Julius Stahl から、汎ゲルマン主義を掲げて軍備拡張を強行し、第1次世界大戦の原因を作ったヴィルヘルム2世時代を経て、ヴァイマル共和国の崩壊に至るまでに出版された保守主義思想に関する文献が収集されたコレクション。

● 万国公法コレクション—明治期におけるヨーロッパ国際法の受容—

日本がヨーロッパ国際法を受容していった江戸末期から明治期にかけて、重要とみなされていた国際法=万国公法に関する、諸著作のコレ

クション。バルベイラク「司祭の道徳論：プーフェンドルフ擁護」初版(1728)をはじめ、バインケルスフーク、グロティウス、オブゾーメル、オルトラン等を著者とする、特に法制史と法学の研究に意義のある貴重書、全14点。

● 映画史と映画産業に関するコレクション

映画史の研究者として著名なデイビッド・O・クリスチャンソン氏によって蒐集されたもので、20世紀に最も重要な芸術と社会的な発展を遂げたひとつである映画産業の発展に関する鮮明な視界と研究材料を提供するコレクション。映画の起源から現在にいたるまでの、主としてイギリス、フランス、アメリカで出版された貴重な本と絶版書を集めたもの。

◆ 新規電子化コレクション

本学所蔵コレクションから、24年度は以下の資料等を電子化・公開しました。

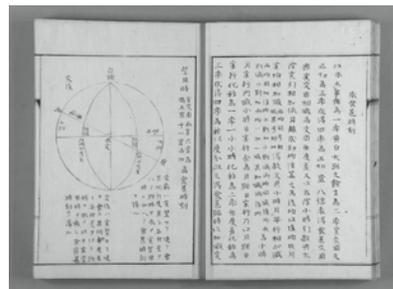
● 桑木文庫 中央図書館所蔵

桑木文庫は、日本科学史学会の初代会長であった、故九州大学工学部教授桑木或雄(Kuwaki, Ayao, 1878-1945)博士が蒐集した数学・物理学・天文学・哲学の古典、江戸期和算書等約2,800点に及ぶコレクションです。桑木先生が収集された和洋の数学と自然科学の古典の集積に敬意を表し、永久的保管の道筋を確保すること、利用上の便宜をはかることを目的に数理学研究院によって撮影・電子化された43点を公開しました。「九州大学貴重書画像データベース」(http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002RARE)からご覧いただけます。

● 読本コレクション 中央図書館所蔵 227点756冊

読本コレクションは、すでに、「日本古典籍画像データベース」

(http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002rare2)にて、表紙・見返し・序跋・目録・内題・刊記など、書誌確認に有用な箇所の高精細(スキャン)画像を公開していましたが、全頁PDFファイルへのリンクを新たに追加しました。撮影・電子化作業は、有明工業高等専門学校 菱岡憲司助教による「次世代研究環境整備のための在九州戯作文献データベースの構築」(学術研究助成基金助成金 若手研究(B) 研究代表者:菱岡憲司 研究課題番号:23720131)の一環として実施されました。



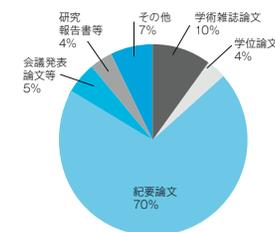
桑木文庫「時憲曆図解」

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)は、学内研究成果の一次情報を収集・蓄積・保存・公開することを目的として、18年4月に公開しました。学内刊行物をはじめ様々なコンテンツ収集とその整備を行い着実に数を増やすとともに、利便性を高めるためにシステムの強化・開発・他システムとの連携を進めています。

◆ コンテンツの拡充

24年度は、約4,340件のコンテンツ登録があり、累積件数は22,894件に達しました。



コンテンツ種類別内訳 (平成25年3月31日現在)

コンテンツ種類	件数
学術雑誌論文 (Journal Article)	2,288
学位論文 (Thesis or Dissertation)	942
紀要論文 (Departmental Bulletin Paper)	16,067
会議発表論文等 (Conference Paper)	1,080
研究報告書等 (Research Paper)	848
その他 (Others)	1,669

◆ 「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」プロジェクト

国立情報学研究所の22~24年度CSI委託事業に採択された「自動文献収集・登録ワークフローシステムの開発」プロジェクトの主担当機関として、連携機関である一橋大学、筑波大学、三重大と事業を実施しました。このプロジェクトでは、特に学術雑誌論文のリポジトリへの登録促進を目的として、「文献自動収集機能」と「登録ワークフロー管理機能」の2つの機能をもつシステムを開発しました。「文献自動収集機能」では、ScopusやWeb of Science等の学術論文データベースの検索結果にもとづいて、著者へリポジトリへの登録依頼メールを送信します。著者は、依頼メールに記載されたURLから本文ファイルをアップロードするだけでリポジトリへ登録することができます。「登録ワークフロー管理機能」では、リポジトリ管理者の標準的なワークフローに基づいて、登録作

業の進捗管理を行います。また、SHERPA/RoMEOやSCPJ等の著作権ポリシーデータベースを自動的に参照する機能も有しています。このワークフロー管理機能により、論文登録作業に関するリポジトリ管理者個人の経験や工夫を複数の管理者で共有でき、作業効率の向上が期待できます。

本プロジェクトで開発したシステムは、ソースコードをウェブサイト(<https://github.com/csiworkflow/R2R>)にて公開しており、あらゆる機関が自由に利用することができます。今後、当該サイトにてシステムの改良や不具合の修正についての情報交換も行う予定です。本システムについてのコミュニティを通じてシステムの改良を継続的に行うことで、各機関での工夫や経験を共有していくことができると考えています。

研究開発室 Research & Development

24年度は、下記の事項についての研究開発活動を行いました。

■ 附属図書館研究開発室活動発表会を開催

25年2月27日、附属図書館研究開発室活動発表会を開催しました。

【プログラム】.....

- 井上仁(学習・教育活動との連携に関する調査研究)
「全学シラバスシステムからのキーワード抽出によるCute.Catalogとの連携」
- 堀優子(学習・教育活動との連携に関する調査研究)
「教育との新たな連携の模索」

- 石田栄美(図書館職員の専門性育成に関する調査研究)
「ウェブと九州大学附属図書館における会議録の入手可能率—九州大学の博士論文で引用された文献をサンプルとして—」
- 馬場謙介(学術情報リポジトリに関する調査研究)
「機関リポジトリへの論文登録を促進する取り組みについて」
- 羽賀真記子(資料保存に関する調査研究)
「資料保存に関する調査研究班 平成24年度の取り組み」
- 松石健祐(統合移転後の新図書館計画に関する調査研究)
「明治・立教大学新図書館視察報告と九州大学新中央図書館について」

平成24年度研究開発室研究開発事項

総括

研究開発の総括	川本 芳昭(附属図書館長、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	-------------------	---

I 将来計画に関する分野

統合移転後の新図書館計画に関する調査研究	堀 賀貴(人間環境学研究院教授)	新中央図書館建設に向け、必要とされる図書館機能及びそれらを実現するための施設設備・サービスに関する調査研究を行う。
海外の大学図書館に関する調査研究	松原 孝俊(韓国研究センター教授)	海外、特にアジア諸国の大学図書館についての調査研究を行う。
図書館職員の専門性育成に関する調査研究	石田 栄美(附属図書館研究開発室准教授) 岡崎 敦(人文科学研究院教授) 川平 敏文(人文科学研究院准教授)	九州大学が所蔵するコレクションについて、その由来や内容、価値、目録形成等についての調査研究を行うとともに、その成果を共有化することにより、サブジェクトライブラリアンとしての職員の専門性育成を図っていく。
学習・教育活動との連携に関する調査研究	吉田 素文(附属図書館副館長、医学研究院教授) 富浦 洋一(システム情報科学研究院教授) 井上 仁(情報基盤研究開発センター准教授)	大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
図書館マーケティングに関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	利用状況の分析を基にした図書館マーケティングと、それを活用したサービス・利用環境の改善、新たなサービスの創出に関する研究開発を行う。

II 電子図書館システムに関する分野

学術情報リポジトリに関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 荒木啓二郎(システム情報科学研究院教授) 竹田 正幸(システム情報科学研究院教授) 富浦 洋一(システム情報科学研究院教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 廣川佐千男(情報基盤研究開発センター教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授) 森 雅生(大学評価情報室准教授)	学術情報リポジトリのコンテンツ拡充及び発信機能強化と教育研究活動への活用のため、機能の高度化、システム間連携、検索システム等に関する研究開発を行う。
教員・学生のコミュニティ及びコンテンツ形成に関する研究	池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授)	学生や教員、または研究者同士のコミュニティを中心とした活発かつ効果的な教育研究のために、SNS(Social Networking Service)システムを基盤とした新機能の研究開発を行う。
RFIDおよびスマートセンサを使った図書館に関する研究	藤崎 清孝(システム情報科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	図書館業務の効率化及び新たなサービスの創出のため、RFID(Radio Frequency Identification)を用いた図書館システムの調査や無線通信技術に関する評価を行うと共に、センサネットワークやスマートフォンなどの技術を用いたスマートセンサを組み合わせた新しい図書館システムの実現に向けた調査研究を行う。
eリソース流通基盤に関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	図書館サービスと大学の利用者認証基盤との連携や電子コンテンツ流通に関する研究開発を行う。

III コンテンツ形成・発信に関する分野

著作権問題に関する調査研究	黒澤 節男(附属図書館研究開発室特別研究員)	図書館サービス全般における著作権問題の解決を図るとともに、学術情報発信及び教材作成等における著作権問題について調査研究を行う。
貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する調査研究	Wolfgang Michel(附属図書館研究開発室特別研究員) 田中久美子(システム情報科学研究院教授) 中里見 敬(言語文化研究院准教授)	本学が所蔵する貴重資料等の調査を行うとともに、そのデータベース作成におけるコンテンツ形成及びシステム・インターフェース構築に関する調査研究を行う。
資料保存に関する調査研究	三輪 宗弘(附属図書館付設記録資料館長)	本学が所蔵する資料の調査や、保存・管理態勢に関する調査研究を行う。

図書館職員向けインストラクショナル・デザイン研修など

「教育の質向上支援プログラム(EEP)」の一環として、23年度に引き続き図書館職員向けの研修を実施し、図書館ガイダンスにおける教授技術の向上を図りました。

・学術データベースの教え方

【開催日】平成24年11月28日(水)

【講師】矢田俊文氏(トムソン・ロイター)

【参加者】18名

【内容】講義:データベース制作会社という立場から捉えた利用者教育の在り方

・図書館職員向けインストラクショナル・デザイン研修

【開催日】第一回:平成25年2月8日(金) 第二回:3月6日(水)

【講師】北村士朗氏(熊本大学大学院 社会文化科学研究科 教授システム学専攻 准教授)

【参加者】第一回:14名 第二回:12名

【内容】講義&演習:ARCSモデルなど動機付け設計の図書館ガイダンスへの応用

平成24年度九州大学附属図書館研修・出張報告会

職員間で情報を共有し、職員の見識を深めるとともに、九大図書館等における今後の取り組みに生かすことを目的に実施しました。

国内および海外での研修等に参加した職員7名がそれぞれ報告を行い、様々な研修の内容に触れる機会となりました。

【開催日】平成24年12月21日(金) 14:30-17:15

【場所】九州大学中央図書館 新館4階視聴覚ホール

【プログラム】

- 天野絵里子(大学図書館職員長期研修 7/2-7/13)
- 工藤絵理子(学術情報リテラシー教育担当者研修 11/28-11/30)
- 大村 武史(学術ポータル担当者研修 8/22-8/24)
- 小柳 真弓(機関リポジトリ新任担当者研修 8/23-8/24)
- 城戸 弦太(大学図書館職員短期研修 10/2-10/5)
- 大田 海(図書館等職員著作権実務講習会 9/5-9/7)
- 星子 奈美(イリノイ大学訪問 6/8)

平成24年度図書系職員初任者研修

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

【プログラム】

5/22(火)

館長講話
九州大学附属図書館の将来構想
九州大学附属図書館の概要と図書館業務の流れ
九州大学統合移転と新図書館計画
図書館業務システム概要
eリソース概要
図書目録業務概要

5/23(水)

中央図書館内見学
資料取扱の基本・図書の修復
ネットワークとセキュリティ
図書館運営費の概要
閲覧サービスの基本
カウンター業務実習
伊都図書館内見学

5/24(木)

QR概要
文献検索実習
図書受入業務概要
雑誌業務概要
ILL業務概要
研究開発室の概要と最近の研究内容

目録/ILLシステム地域講習会

国立情報学研究所と共催で、24年度は目録システム地域講習会雑誌コースとILLシステム地域講習会を開催しました。

両講習会とも、九州地区の大学図書館職員16名が参加し、システムの運用方法を熱心に学ぶとともに、同じ業務を担当する他大学の職員との交流を深めました。

【開催日】ILL: 平成24年7月6日(金)

目録(雑誌): 平成24年8月1日(水)~3日(金)

統計 = 利用サービス = Statistics

平成24(2012)年度

			中央図書館	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館	嘸鳴天空広場	文系合同図書室	合計
			Central Lib.	Medical Lib.	Design Lib.	Chikushi Lib.	Ito Lib.	Q-Commons	Human. & Soc. Sci. Lib.	Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日	Weekday	240	240	243	240	239	173	225	1,600
	土曜	Saturday	48	46	30	47	51	0	39	261
	日曜・祝日	Others	64	65	3	0	61	0	0	193
	合計	Total	352	351	276	287	351	173	264	2,054
入館者数 Visitors (人)	教職員	Faculties	23,546	9,113	2,138	9,358	9,970	51	3,669	57,845
	学生	Students	399,198	132,834	24,305	37,433	319,450	153,343	23,964	1,090,527
	学外者	Others	36,717	6,620	419	6,284	6,263	0	308	56,611
	合計	Total	459,461	148,567	26,862	53,075	335,683	153,394	27,941	1,204,983
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員	Faculties	7,965	2,879	1,957	1,602	8,761	54	11,819	35,037
	学生	Students	63,363	12,891	18,290	5,479	71,940	3,112	37,270	212,345
	学外者	Others	2,683	127	278	175	621	0	0	3,884
	合計	Total	74,011	15,897	20,525	7,256	81,322	3,166	49,089	251,266
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員	Faculties	4,983	1,908	1,275	1,270	5,456	51	5,672	20,615
	学生	Students	41,424	9,631	10,798	4,465	45,963	2,728	18,516	133,525
	学外者	Others	2,154	1,009	196	141	419	0	0	3,919
	合計	Total	48,561	12,548	12,269	5,876	51,838	2,779	24,188	158,059
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内)	Requests(Domestic)	3,868	14,536	275	-	780	-	-	19,459
	学外からの受付(国外)	Requests(International)	76	0	3	-	0	-	-	79
	小計	Subtotal	3,944	14,536	278	-	780	-	-	19,538
	学内からの受付 (内、E-DDS件数)	Request within KU (E-DDS of above)	1,198 (133)	1,423 (571)	153 (53)	110 (25)	724 (195)	- (-)	- (-)	3,608 (977)
	合計	Total	5,142	15,959	431	110	1,504	-	-	23,146
	(うち謝絶)	(cancel)	878	1,493	49	0	171	-	-	2,591
	学外への依頼(国内)	Received(Domestic)	3,461	3,838	282	266	1,390	-	-	9,237
	学外への依頼(国外)	Received(International)	28	19	0	0	1	-	-	48
	合計	Total	3,489	3,857	282	266	1,391	-	-	9,285
	(うち謝絶)	(cancel)	723	581	5	0	126	-	-	1,435
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内)	Borrows(Domestic)	1,442	53	162	7	513	-	-	2,177
	学外からの受付(国外)	Borrows(International)	15	0	0	0	0	-	-	15
	合計	Total	1,457	53	162	7	513	-	-	2,192
	(うち謝絶)	(cancel)	356	18	32	0	135	-	-	541
	学外への依頼(国内)	Loans(Domestic)	995	48	78	8	494	-	-	1,623
	学外への依頼(国外)	Loans(International)	2	0	0	0	0	-	-	2
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	合計	Total	997	48	78	8	494	-	-	1,625
	(うち謝絶)	(cancel)	175	13	11	0	75	-	-	274
	教職員	Faculties	386	788	67	111	338	0	325	2,015
	学生	Students	2,435	4,201	303	28	1,679	1,061	2,517	12,224
	学外者	Others	533	469	38	8	101	0	1,218	2,367
	合計	Total	3,354	5,458	408	147	2,118	1,061	4,060	16,606
	所在調査	Holdings	614	1,598	81	53	699	31	3,248	6,324
事項調査	Topics	122	264	63	86	85	7	203	830	
利用指導/その他	Instructions /Others	2,618	3,596	264	8	1,334	1,023	609	9,452	
合計	Total	3,354	5,458	408	147	2,118	1,061	4,060	16,606	

※文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む

電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2012.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	260,845	Karger	6,127
American Institute of Physics (AIP)	38,481	Nature Site License	187,137
American Physical Society (APS)	35,859	ProQuest Health & Medical Complete	13,588
CiNii*	173,698	ProQuest Research Library	19,054
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	995,603	SpringerLink	163,577
Journals@Ovid	6,500	Wiley Online Library	270,779
		合計 Total	2,171,248

※国内誌

情報検索サービスの利用

Databases

2012.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
きゅうとサービス Cute services	Cute.Search	ティスカバリ(グローバル)	325,288	-
	Cute.Catalog	ティスカバリ(ローカル)	363,687	-
	きゅうとOPAC	九大所在情報	965,678	-
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	685,096	-
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	95,103	-
	きゅうとMyLibrary	図書館ポータル	-	76,021
文献情報 Abstracts & index databases	RefWorks	文献管理ツール	-	9,688
	CiNii	全分野(国内)	354,996	97,773
	Web of Science (Web of Knowledge)	全分野	273,327	56,037
	Scopus	自然・社会科学	229,964	76,990
	SciFinder	化学	152,443	32,550
	医中誌Web	医学(国内)	136,133	46,339
	JDreamII	自然科学	22,737	7,646
	MEDLINE (Ovid)	医学	5,838	1,274
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	3,710	2,085
	PsycINFO (Ovid)	心理学	3,928	1,121
	EBM Reviews (Ovid)	医学	2,815	960
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	1,801	619
事典類 References	ERIC (Ovid)	教育学	269	107
	JapanKnowledge	(国内)	55,166	5,836
	国史大辞典Web	(国内)	8,444	2,075
	日本歴史地名大系	(国内)	7,268	883
	Gale Virtual Reference Library		33	198
	理科年表プレミアム	(国内)	-	660
	Marquis Biographies Online		188	74
	研究社オンライン・ディクショナリー	(国内)	-	521
新聞 Newspaper articles	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	-	3,293
	西日本新聞記事データベース「パピルス」	西日本新聞記事	8,067	-
	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	1,898	497
インパクトファクター Impact factor	Journal Citation Reports [JCR] (Web of Knowledge)	自然科学	21,739	22,786

学内配送サービスの利用 (図書の出出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成24(2012)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human. & Soc.Sci.Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	計 Total
中央図書館 Central Lib.			4,131	847	1,648	728	6,350	413	14,117
文系合同図書室 Human. & Soc.Sci.Lib.		3,906		142	690	130	1,819	148	6,835
医学図書館 Medical Lib.		613	178		146	90	443	46	1,516
芸術工学図書館 Design Lib.		1,526	647	134		299	1,110	95	3,811
筑紫図書館 Chikushi Lib.		603	111	76	271		780	9	1,850
伊都図書館 Ito Lib.		7,324	2,202	583	1,368	906		2,765	15,148
嚶鳴天空広場 Q-Commons		228	107	25	90	9	333		792
計 Total		14,200	7,376	1,807	4,213	2,162	10,835	3,476	44,069

統計 = 基盤サービス = Statistics

■ 図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成24(2012)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	8,430	3,289	11,719	1,877	165	2,042
	理学研究院 Faculty of Sciences	129	304	433	286	291	577
	農学研究院 Faculty of Agriculture	787	653	1,440	1,046	663	1,709
	小計 Central Library Total	9,346	4,246	13,592	3,209	1,119	4,328
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	1,073	1,060	2,133	728	432	1,160
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	196	203	399	60	22	82
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	1	1	11	13	24
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	4	4	2	0	2
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	4	4	0	2	2
	病院(医・歯) University Hospital	69	149	218	83	85	168
	小計 Medical Library Total	1,338	1,421	2,759	884	554	1,438
芸術工学図書館 Design Library	2,457	436	2,893	463	104	567	
筑紫図書館 Chikushi Library	筑紫図書館 Chikushi Library	787	191	978	233	26	259
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	5	13	18	13	0	13
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	18	5	23
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	1	15	16	4	0	4
	健康科学センター Institute of Health Science	17	24	41	24	10	34
	小計 Chikushi Library Total	810	243	1,053	292	41	333
伊都図書館 Ito Library	伊都図書館 Ito Library	5,544	863	6,407	537	35	572
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	2,102	758	2,860	173	79	252
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	1,380	791	2,171	20	56	76
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	236	1,920	2,156	34	446	480
	工学研究院 Faculty of Engineering	186	275	461	200	173	373
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	83	118	201	53	50	103
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	41	0	41	11	12	23
	小計 Ito Library Total	9,572	4,725	14,297	1,028	851	1,879
文系合同図書室 Humanities and Socialsciences Library	文学部 School of Letters	5,833	3,076	8,909	2,570	228	2,798
	教育学部 School of Education	656	218	874	680	78	758
	法学研究院 Faculty of Law	7,081	3,467	10,548	714	316	1,030
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,545	954	2,499	646	224	870
	人環 都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	590	176	766	29	36	65
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	15,705	7,891	23,596	4,639	882	5,521
別府病院 Beppu Hospital	17	4	21	90	21	111	
記録資料館 Manuscript Library	620	6	626	410	4	414	
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	0	0	0	2	2	4	
合計 Total		39,865	18,972	58,837	11,017	3,578	14,595

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所は、伊都図書館の項目に計上している。

(注3) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

資料費 Expenditures for library materials

平成24(2012)年度
(単位:千円/thousand yen)

	図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	eリソース Electronic resources	その他 Others	資料費総額 Total
中央図書館 Central Library	75,474	53,951	469,063	3,375	601,863
医学図書館 Medical Library	15,834	10,097	17,423	970	44,324
芸術工学図書館 Design Library	13,629	6,433	162	2,020	22,244
筑紫図書館 Chikushi Library	19,470	3,884	0	60	23,415
伊都図書館 Ito Library	114,245	54,814	3,872	2,790	175,720
文系合同図書室 Humanities and Social Sciences Library	128,200	36,938	16,113	6,465	187,716
別府病院 Beppu Hospital	0	31	218	0	249
記録資料館 Manuscript Library	1,317	136	0	153	1,606
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	380	15	3,073	0	3,467
合計 Total	368,549	166,300	509,923	15,833	1,060,605

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。

(注2) 電子ジャーナル等にはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。

電子ジャーナル E-Journals

平成25(2013)年5月1日現在

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む) Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 71,074

契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成25(2013)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	43	LexisNexis: Academic & lexis.com	9,493
American Institute of Physics (AIP)	12	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	31
American Physical Society (APS)	8	Medical Online Library (MOL) *	993
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	25	Nature Publishing Group	35
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,134	OECD iLibrary	42
Cambridge University Press	37	Oxford University Press	285
Cell Press	8	ProQuest Health & Medical Complete	1,693
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	ProQuest Research Library	4,274
CiNii *	458	Science (AAAS)	3
EBSCOhost: Business Source Complete	11,232	SpringerLink	1,700
EBSCOhost: EconLit with Full Text	675	Taylor & Francis	97
Elsevier ScienceDirect	2,257	UniBio Press *	7
IEEE: ASPP Online, POP Online	314	University of Chicago Press	12
IEICE *	8	Wiley Online Library	1,407
Institute of Physics (IOP)	10	World Scientific Publishing	16
Journals@Ovid	6	応用物理学会(JSAP)*	1
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	372	日本物理学会(JPS)*	2
Karger	76	その他	668
		合計 Total	37,436

※国内誌

蔵書数 Holdings

平成25(2013)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館 Central Lib.	599,542	368,588	968,130	18,231	11,865	30,096
医学図書館 Medical Lib.	145,982	202,685	348,667	2,783	7,269	10,052
芸術工学図書館 Design Lib.	127,538	51,515	179,053	2,087	1,009	3,096
筑紫図書館 Chikushi Lib.	66,387	78,798	145,185	1,517	1,193	2,710
伊都図書館 Ito Lib.	509,496	456,540	966,036	8,679	8,287	16,966
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	841,453	622,313	1,463,766	17,753	8,582	26,335
別府病院 Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館 Manuscript Lib.	54,888	4,309	59,197	1,710	54	1,764
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	2,655	8,442	11,097	42	85	127
合計 Total	2,354,634	1,806,681	4,161,315	53,094	38,691	91,785

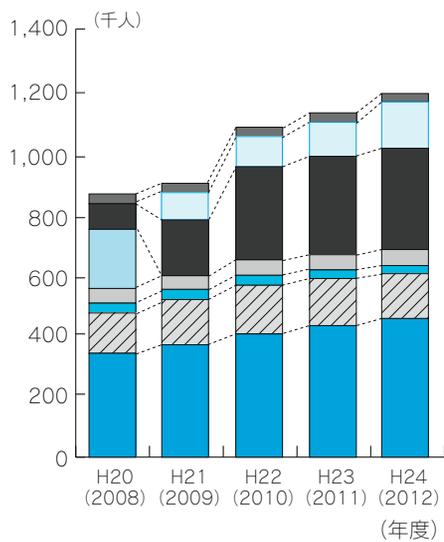
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

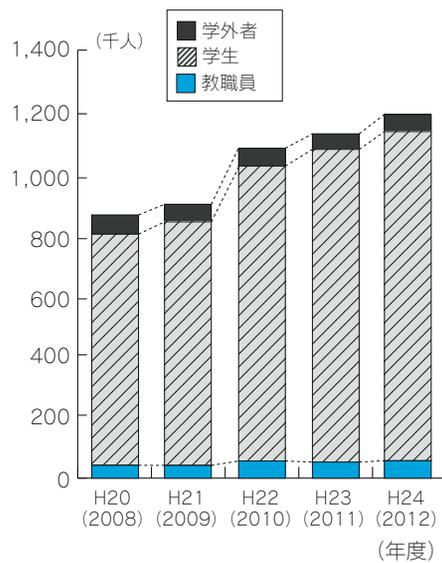
■ 利用サービスの推移



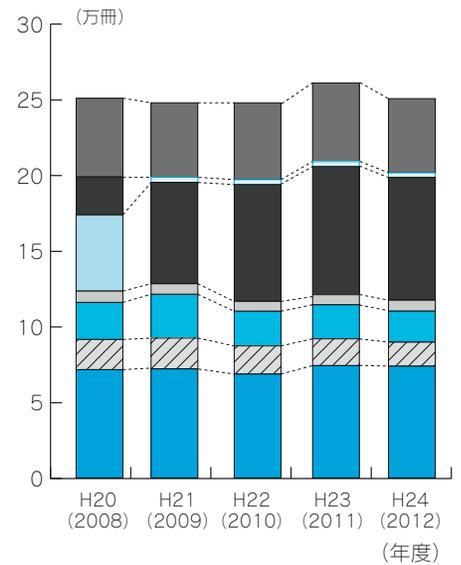
入館者数



身分別入館者数

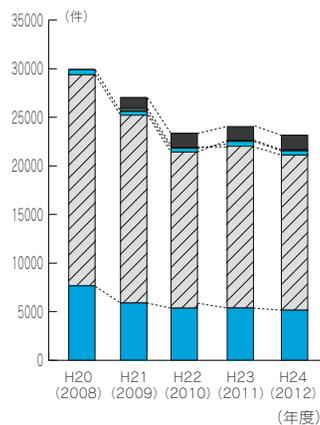


貸出冊数

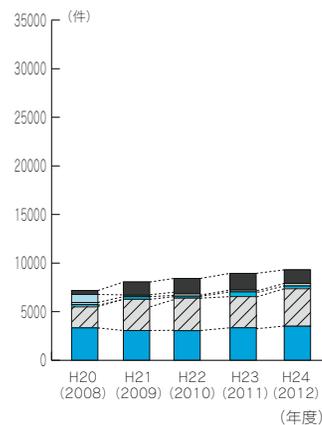


入館者数については、順調な伸びを示しています。特に中央図書館、伊都図書館及び嘸鳴天空広場Q-Commonsにおいて年々増加しており、中でも嘸鳴天空広場Q-Commonsでの増加が顕著に見られます。身分別入館者数のグラフからは、学生の入館者数が着実に増加しており、学習での図書館の活用が進んでいることが分かります。一方、貸出冊数については、入館者数が増加傾向にある館でも、概ね横ばい、または減少となっています。これは、ネットワーク環境の普及や学術情報の電子化等により、図書館の資料を借りずとも要求が満たせるようになってきたことの影響とも考えられます。

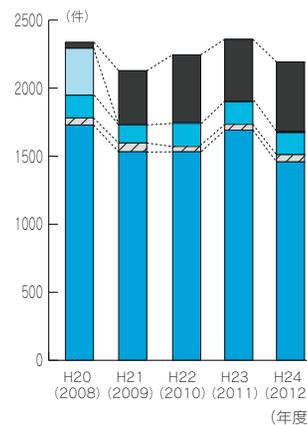
文献複写件数【受付】



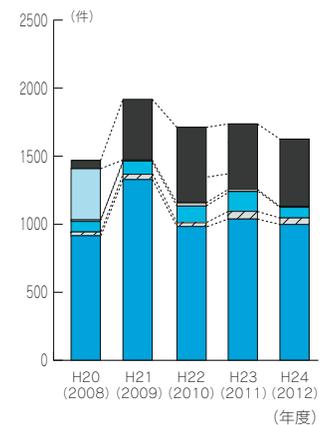
文献複写件数【依頼】



相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】

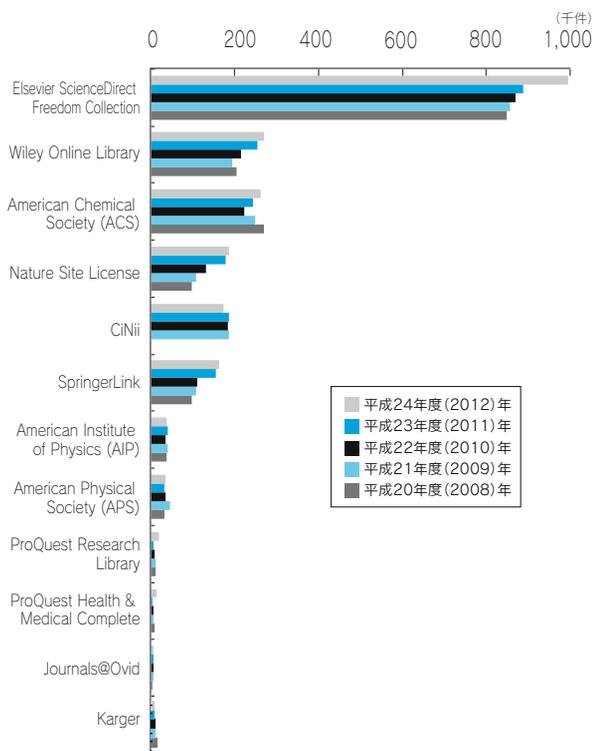


受付(学外機関/学内利用者・個人への文献コピーの提供)は昨年度全体として微増となりましたが再び減少に転じました。電子ジャーナルのアクセス環境の向上が原因としては考えられます。各図書館別では伊都図書館に堅調な伸びが確認できます。依頼(学外機関からの文献コピーの取寄せ)は全体で対前年度比4%の増加となり5年連続で上昇しています。各図書館別では中央図書館、医学図書館、筑紫図書館が増加しましたが、特に医学図書館は対前年度比2割の増加となりました。

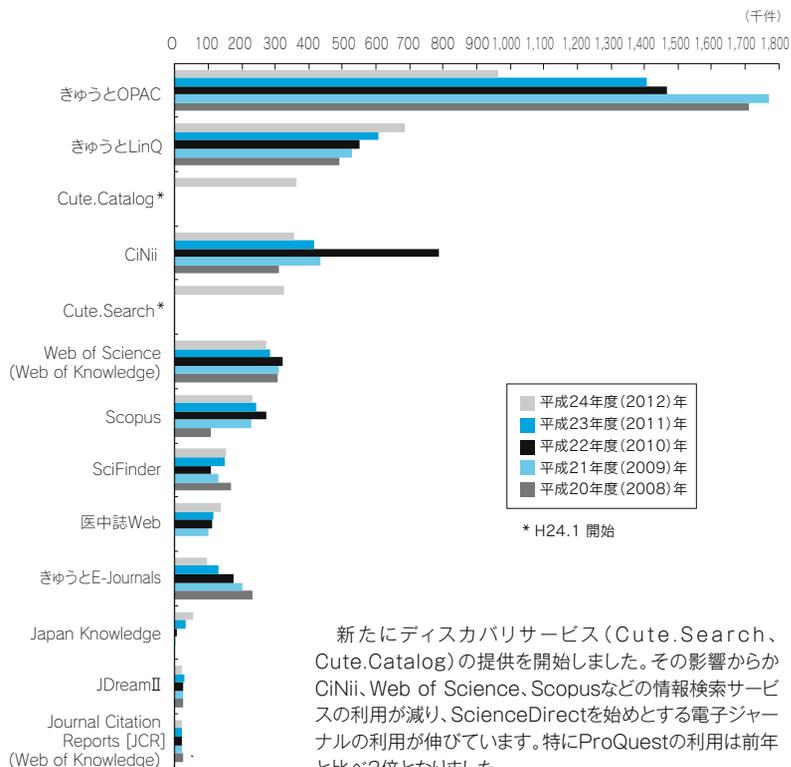
受付(学外機関への圖書の貸出)、依頼(学外機関からの圖書の借受)ともに、若干の変動はありますが全体の件数としては底堅い印象です。各図書館別では対前年度で中央図書館が減少、伊都図書館が増加となりましたが、全体として例年並みに推移していると考えられます。

電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

電子ジャーナルの利用 主要パッケージの利用件数



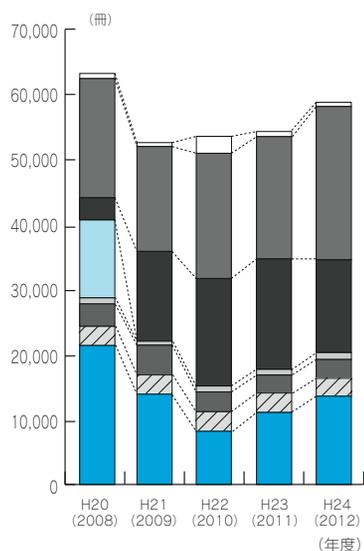
情報検索サービスの利用 主要データベースの検索回数



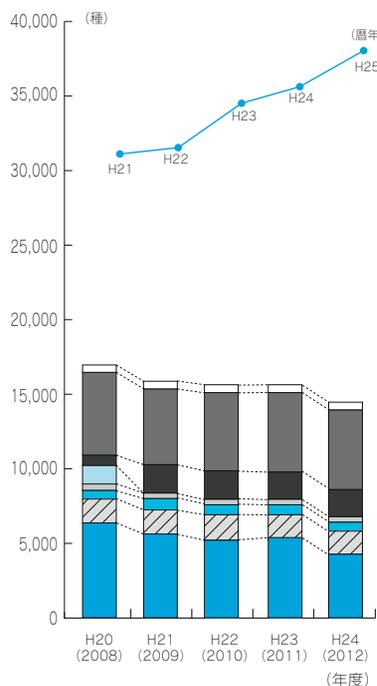
新たにディスカバリサービス(Cute.Search、Cute.Catalog)の提供を開始しました。その影響からかCiNii、Web of Science、Scopusなどの情報検索サービスの利用が減り、ScienceDirectを始めとする電子ジャーナルの利用が伸びています。特にProQuestの利用は前年と比べ3倍となりました。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

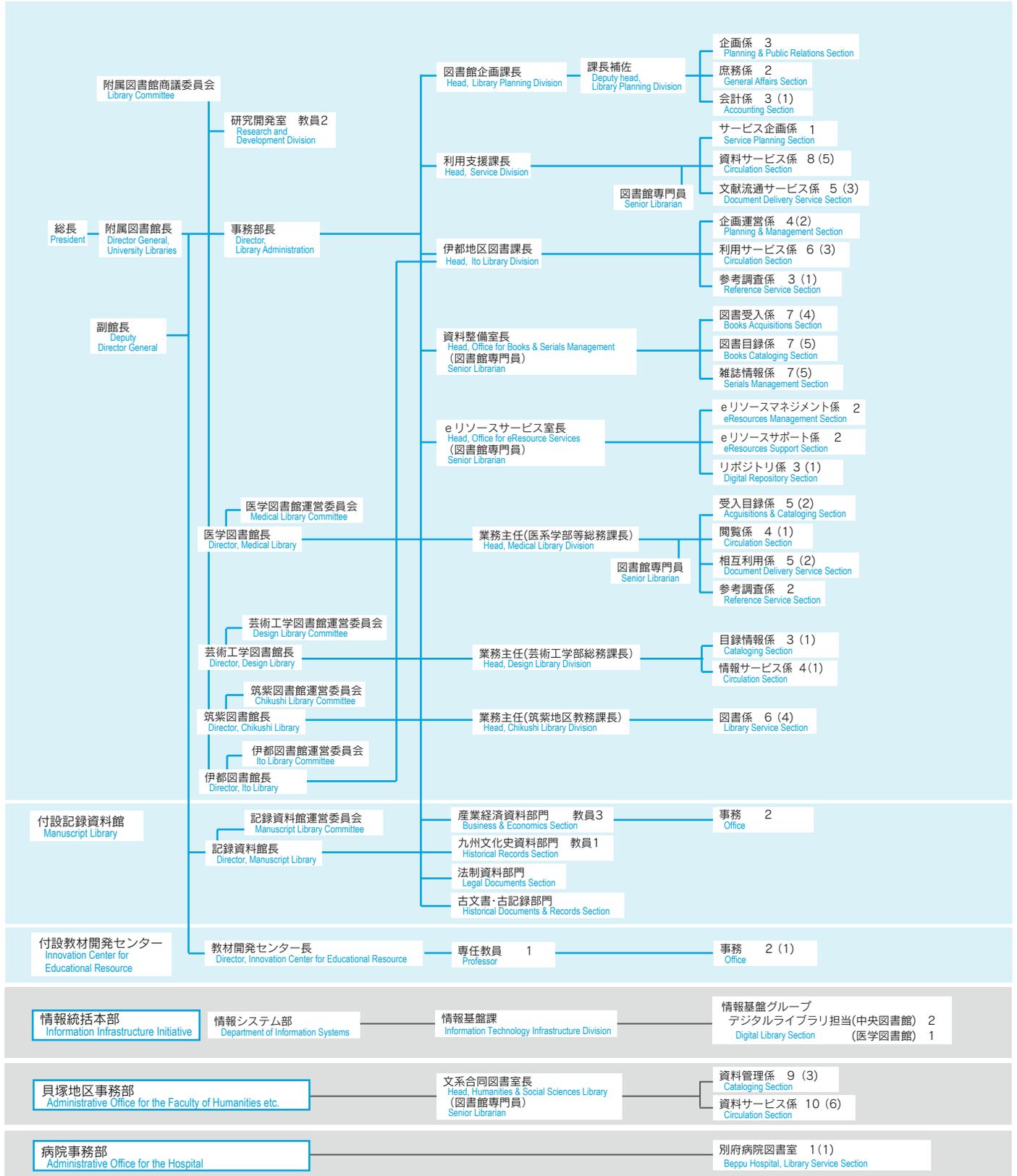


図書については、ここ数年の受入冊数は安定していましたが、24年度は中央図書館と文系合同図書室で受入冊数が20%以上増加しており、全体として約8%の増加となりました。

雑誌については、電子ジャーナル契約数の増加と昨年度はキャンパス移転準備のため、寄贈雑誌等のデータ調整を行った結果、雑誌の受入数の減少となっています。

附属図書館の組織 Organization

(平成25年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計	区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
教員数	2	3	0	2	7	職員数	1	3	1	4	22	96 (52)	127

※ 専任教員のみの。

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。() 内は事務補佐員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

平成25年4月1日現在

附属図書館長	川本 芳昭	副学長	伊都図書館長	荒木啓二郎	システム情報科学研究院 教授
副館長	吉田 素文	医学研究院 教授	記録資料館長	三輪 宗弘	記録資料館 教授
医学図書館長	田中 雅夫	医学研究院 教授	教材開発センター長	藤村 直美	芸術工学研究院 教授
芸術工学図書館長	佐藤 優	芸術工学研究院 教授	事務部長	益森 治巳	
筑紫図書館長	林 徹夫	総合理工学研究院 教授			

附属図書館商議委員会

平成25年4月1日現在

委員長

川本 芳昭 副学長、附属図書館長

委員

吉田 素文 医学研究院 教授 副館長
 田中 雅夫 医学研究院 教授 医学図書館長
 佐藤 優 芸術工学研究院 教授 芸術工学図書館長
 林 徹夫 総合理工学研究院 教授 筑紫図書館長
 荒木啓二郎 システム情報科学研究院 教授 伊都図書館長
 三輪 宗弘 記録資料館 教授 記録資料館長
 藤村 直美 芸術工学研究院 教授 教材開発センター長
 青柳 睦 情報基盤研究開発センター 教授 情報基盤研究開発センター長
 緒方 一夫 熱帯農学研究センター 教授 留学生センター長
 柴田 篤 人文科学研究院 教授
 吉井 亮雄 “
 太田 好信 比較社会文化研究院 教授
 東 英寿 “
 関 一敏 人間環境学研究院 教授
 堀 賀貴 “
 田中 教雄 法学研究院 教授
 渡辺 徹也 “
 稲富 信博 経済学研究院 教授
 田北 廣道 “
 恒川 元行 言語文化研究院 教授
 福元 圭太 “
 中西 秀 理学研究院 教授
 安中 雅彦 “

廣島 文生 数理学研究院 教授
 勝田 篤 “
 岩城 徹 医学研究院 教授
 笹栗 俊之 “
 横山 武志 歯学研究院 教授
 山下 喜久 “
 王子田彰夫 薬学研究院 教授
 藤田 雅俊 “
 近藤 孝広 工学研究院 教授
 小江 誠司 “
 綿貫 茂喜 芸術工学研究院 教授
 板橋 義三 “
 倉爪 亮 システム情報科学研究院 教授
 岩熊 成卓 “
 中島 秀紀 総合理工学研究院 教授
 笹田 一郎 “
 福田 晋 農学研究院 教授
 南石 晃明 “
 淵田 吉男 基幹教育院 教授
 山崎 晶 生体防御医学研究所 教授
 柿本 浩一 応用力学研究所 教授
 佐藤 治 先導物質化学研究所 教授
 落合 啓之 マス・フォア・インダストリ研究所 教授
 益森 治巳 附属図書館事務部長

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館数:91)
 九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館:11)
 九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館:77)
 福岡県図書館協会 副会長(理事):館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
 福岡県・佐賀県大学図書館協議会(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学図書館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)
 九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

人事異動 Personnel Reshuffle

(平成24年4月1日～25年3月31日)

学外へ転出

異動後

異動前

4/1	飯田 昇平	鹿児島大学学術情報部長	図書館企画課長
	徳元美智子	琉球大学附属図書館サービス情報センター	資)図書目録係

中央図書館

4/1	益森 治巳	事務部長	鳥取大学学術情報部長
	渡邊 俊彦	図書館企画課長	一橋大学学術・図書館学術情報課長
	印藤 憲一	企)課長補佐	日本学生支援機構九州支部主査
	久原 明美	図書館専門員 兼)資料整備室長・図書目録係長	芸)目録情報係長
	中尾 康朗	利)文献流通サービス係長	利)資料サービス係長
	堀 優子	利)サービス企画係長 兼)資料サービス係長	利)サービス企画係長
	工藤絵理子	e)eリソースサポート係	e)レポートリ係
	羽賀真記子	資)図書目録係	企)企画係
	星子 奈美	企)企画係	情報システム部情報基盤課
	北島 光朗	利)資料サービス係	伊)利用サービス係
	小柳 真弓	e)レポートリ係	(採用)
	梶谷 理恵	付設教材開発センターテクニカルスタッフ	情報基盤研究開発センター技術補佐員
	北原 綾子	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
7/1	高橋 美樹	理学部等庶務係主任	企)庶務係主任
	池田 香織	企)庶務係主任	理学部等庶務係主任
7/31	北原 綾子	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
8/31	大串 彰	(退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ
9/1	宮崎香菜子	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
11/30	菊池 重良	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
12/1	岡本 好古	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
1/1	田代 岳人	付設教材開発センターテクニカルスタッフ	情報基盤研究開発センターテクニカルスタッフ
1/7	三浦 貴司	企)企画係	(採用)
1/28	熊谷 由紀	e)eリソースマネジメント係	(採用)
2/1	金子 晃介	付設教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
2/28	福田 英美	(退職)	資)図書目録係事務補佐員
3/31	古賀 幸成	(定年退職)	利用支援課長
	清田 要一	(定年退職)	企)庶務係長

医学図書館

4/1	井ノ上俊哉	図書館専門員	伊)企画運営係長
	河上 章彦	相互利用係長	利)文献流通サービス係長
3/31	田村 雅生	(退職)	閲覧係
	廣松ケイ子	(退職)	相互利用係

芸術工学図書館

4/1	牛尾 憲一	業務主任	
	大瀧 礼二	目録情報係長	情報サービス係長
	児玉 浩憲	情報サービス係長	国立国会図書館主題情報部科学技術・経済課科学技術係
	西島 徹	情報サービス係	記録資料館産業経済資料部門
7/1	田中紗貴子	情報サービス係事務補佐員	(採用)

筑紫図書館

4/1	御手洗光代	筑紫地区教務課保健係事務補佐員	図書係事務補佐員
	富田 仁子	図書係事務補佐員	筑紫地区教務課保健係事務補佐員
3/31	筒井 信子	(定年退職)	図書係事務補佐員

伊都図書館

4/1	田中由紀子	伊都地区図書課長	図書館専門員 兼)資料整備室長・図書目録係長
	有田 順一	企画運営係長	有明工業高等専門学校学生課図書情報係長
	大村 武史	企画運営係	文)資料管理係
	島田久美子	利用サービス係	文)資料サービス係
	菅原 潔子	利用サービス係事務補佐員	(採用)
5/31	井上 恵利	(退職)	利用サービス係事務補佐員
6/1	蘭 千佳子	利用サービス係事務補佐員	(採用)
3/31	吉田 正章	(退任)	伊都図書館長

記録資料館 産業経済資料部門

4/1	中野由起夫	特定有期事務職員	(採用)
-----	-------	----------	------

情報システム部情報基盤課

4/1	兵藤 健志	専門職員	e)eリソースサポート係
-----	-------	------	--------------

文系合同図書室

4/1	金丸委津子	資料管理係	芸)情報サービス係
	大谷 周平	資料サービス係	琉球大学附属図書館情報サービス科情報リテラシー係
	平良 香	資料サービス係	(職場復帰)
	安永振一郎	資料サービス係	(採用)
	齊藤 彰子	資料管理係事務補佐員	(採用)
	松本 晴美	資料サービス係事務補佐員	(採用)
	阪口 心志	資料サービス係事務補佐員	(採用)
9/30	熊谷 由紀	(退職)	資料管理係
10/1	佐方 小弓	資料管理係	(職場復帰)
2/28	阪口 心志	(退職)	資料サービス係事務補佐員
3/31	林 恵子	(定年退職)	資料管理係事務補佐員

(訂正)

[九州大学附属図書館年報 2011/2012]において、下記の異動情報が記載されていませんでした。お詫びして訂正いたします。

(平成23年4月1日～24年3月31日)

10/6	三坂 雅子	情報サービス係	(職場復帰)
10/5	山口 結香	(退職)	情報サービス係
10/6	山口 結香	目録情報係事務補佐員	(採用)
3/31	山口 結香	(退職)	目録情報係事務補佐員

企) 図書館企画課	芸) 芸術工学図書館
利) 利用支援課	筑) 筑紫図書館
資) 資料整備室	文) 文系合同図書室
e) eリソースサービス室	伊) 伊都図書館
医) 医学図書館	

出版物

◆ 附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2011/2012』(2012.5)
 『九州大学附属図書館研究開発室年報2011/2012』(2012.8)
 『九州大学附属図書館要覧』(2012.10)
 『きゅうとNEWSLETTER Vol.7』
 No.1(2012.4), No.2(2012.7), No.3(2012.10), No.4(2013.1)

◆ 付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター Vol.7』(2013.3)

◆ 付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.34』(2013.3)
 『エネルギー史研究 No.28』(2013.3)

◆ 付設記録資料館九州文化史部門発行

『九州文化史研究所紀要 56号』(2013.3)

◆ 付設教材開発センター発行

『九州大学附属図書館付設教材開発センターだより No.1』(2013.3)

貴重書の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
広開土王碑拓本	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(H24.4.1～H25.3.31)	九州国立博物館
『維新起源太宰府記念編(草稿)』(江島文庫)「太宰府志」	中央図書館	太宰府市市制施行 30 周年記念「まるごと太宰府歴史展」(H24.9.1～11.4)	太宰府市文化ふれあい館
シーボルト「NIPPON」 ケンベル「日本誌」(フランス語版)	医学図書館	特別展「長崎街道-世界とつながった道-」(H24.10.30～12.27)	九州歴史資料館

貴重書の出版物への掲載・TV等での放映

出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
『倭板四書』(近藤文庫) 『聖廟祀典圖攷』(古聖賢像傳畧) 『竹取物語絵巻』	中央図書館 文系合同(文)	『生と死の探求』(九州大学文学部人文学入門2 九州大学出版会 2013.2)
『大和物語』『奈良絵本いせ物語』(支子文庫) 『建礼門院右京大夫集』『伊勢物語』『うつほ物語絵巻』(細川文庫) 『大鏡』『今昔物語抄』(萩野文庫) 『D'AMBOISE』(トマス・コレクション)	中央図書館	『テキストの誘惑 フィロロジーの射程』(九州大学文学部人文学入門4 九州大学出版会 2012.9)
『うつほ物語絵巻』(細川文庫)	中央図書館	『日本文学史 古代・中世編』(ミネルヴァ書房 2013.3) 『常用国語便覧』(浜島書店 2013.4)
『御書子島渡り』(支子文庫)	中央図書館	『義経の冒険』(講談社選書メチエ 2012.10)
『大鏡』(萩野文庫)	中央図書館	『週刊絵巻で楽しむ源氏物語五十四帖』46(朝日新聞出版 2012.10)
『蒙古襲来絵詞』	中央図書館	『MONOQLO プライム誌』(晋遊舎 2012.4) 『蒙古合戦と鎌倉幕府の滅亡』(吉川弘文館 2012.10) 『歴史人』2012-11(KKベストセラーズ 2012.10) 『週刊歴史のミステリー』35(デアゴスティーニジャパン 2013.1) 『明日の授業に使える中学校社会科 歴史』(大月書店 2013.3)
『日本山海名物図絵』(廣瀬文庫)	中央図書館	『週刊新発見!日本の歴史』7(朝日新聞出版 2013.7)
『五臓之守護并虫之図』(眼科教室旧蔵野本)	医学図書館	『「腹の虫」研究』(名古屋大学出版会 2012.4)
『重訂解体新書』(眼科教室旧蔵野本)	医学図書館	『江戸時代の医学—名医たちの300年—』(吉川弘文館 2012.5)
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	『彩色事典 将軍と江戸の武士』(双葉社 2012.9) 『江戸の技と匠』(双葉社 2012.9) 『カラー写真で見える幕末動乱』(双葉社 2012.11) 『歴史人』2012-12(KKベストセラーズ 2012.11) 『週刊日本の100人』70(デアゴスティーニジャパン 2013.5)
ケンベル「日本誌」	医学図書館	『大奥のすべて』(双葉社 2012.11)
『竹取物語絵巻』	文系合同(文)	『進研ゼミ 中学講座』(ベネッセコーポレーション 2012.5, 2013.5)
仙厓和尚の書画	文系合同(文)	『日本の図像 - 漫画』(ピエ 2013.2)
『蝶夢和尚文集』	文系合同(文)	『蝶夢全集』(和泉書院 2013.5)

TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組
『蒙古襲来絵詞』	中央図書館	『THE ナンバー 2～歴史を動かした陰の主役たち～』(BS-TBS 2012.4.26) 『報道特集』(TBS テレビ 2012.6.23) 『サンデー!スクランブル』(テレビ朝日 2012.10.14) 『よみがえる元寇の船～神風の正体につながる～』(RKB毎日放送 2012.12.31) 『TOMORROW beyond 3.11』(NHK BS1 2013.1.29) 『ライバルたちの光芒』(BS-TBS 2013.2.13)
『建礼門院右京大夫集』(細川文庫)	中央図書館	『歴史秘話ヒストリア～源平合戦～』(NHK総合 2012.12.5)
『日本山海名物図会』(廣瀬文庫)	中央図書館	『ザ!鉄腕!DASH!』(日本テレビ 2012.4.8)
『日本山海名物図絵』(廣瀬文庫) シーボルト「NIPPON」	中央図書館 医学図書館	『JNN九州沖縄ドキュメント ムーブ』(RKB毎日放送他九州沖縄8局ネット 2012.10.21)
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	『とことん紀行九州伝説』(BS11 2012.6.8) 『謎解き!江戸のススミ!』(BS-TBS 2013.1.21)
『福岡城下町・博多・近隣古図』(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	『アサデス。KBC』(KBC九州朝日放送 2012.11.28) 『発見!筑紫の歴史 日本空の旅人』(J:COM 2013.1.11-1.31)
『長崎細見之図』(松木文庫)	記録資料館(九州文化史)	『歴史秘話ヒストリア』(チャンネル銀河 2013.4.)
『和漢三才図会』(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	『食彩の王国』(テレビ朝日 2012.9.15) 『テレビ寺子屋』(テレビ静岡 2013.7.27)

図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館
H24 (2012) 4	25 LSS 共催講演会 (第 8 回)「情報へのアクセスの高度化と自然言語処理」				
5	8 中央図書館図書資料選定委員会 (第 1 回) 12 九州大学創立百周年記念式典・箱崎キャンパス公開にて特別展示 (於: 旧工学部本館) 16 創立百周年記念行事 第 52 回附属図書館貴重文物展示「九州大学百年の宝物: 附属図書館貴重資料コレクション」(~ 22 日) 22 図書系職員初任者研修 (~ 24 日) 30 LSS 共催講演会 (第 9 回)「九州帝国大学法文学部の創設ー大学文書館資料から見たー」	17 平成 24 年度外国雑誌センター館会議 24 第 83 回日本医学図書館協会総会(~ 25 日)		26 オープンキャンパス「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩ー昔も今も学术交流の拠点ー」展示 30 第 1 回筑紫図書館運営委員会	13 九州大学創立百周年記念事業「九大 100 年まつり」図書館開放
6	12 CSI 報告交流会 (~ 13 日) 27 LSS 共催講演会 (第 10 回)「太平洋戦争開戦経緯の研究を振り返ってー思索し、資料を探し求めてー」			21 第 2 回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	
7	1 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専門試験 3 学術情報セミナー「進化する学術情報サービスと高まる図書館の役割」 4 インディアナ大学図書館・イリノイ大学図書館来訪 4 九州大学附属図書館/エルゼビア図書館セミナー「Power of Library ~大学図書館のパワー~」 6 NII ILL システム地域講習会 25 学生用図書選定委員会中央図書館分科会 (第 1 回)	27 平成 24 年度第 1 回医学図書館運営委員会	24 第 1 回芸術工学図書館運営委員会 27 第 1 回芸術工学図書館セミナー(視覚的順応と錯視)	9 第 1 回筑紫図書館図書資料選定委員会 19 第 3 回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	
8	1 NII 目録システム地域講習会 (~ 3 日) 4 オープンキャンパス「探検! 大学図書館」(~ 5 日) 21 LSS 共催講演会 (第 11 回)「歴史的公文書保存と人材育成の展望」	6 オープンキャンパス 図書館開放	4 オープンキャンパス図書館開放		2 第 1 回伊都図書館運営委員会 4 オープンキャンパス 図書館開放(~ 5 日) 30 全南大学校図書館(2 名) 来訪
9	19 防災訓練 24 LSS 共催講演会 (第 12 回)「情報の法的取扱いとライブラリーサイエンス」 25 中学生職場体験学習 (~ 27 日 和白丘中学校)	7 平成 24 年度第 2 回医学図書館運営委員会(書面回議)			28 伊都図書館学生用図書選定委員会(書面回議)
10	22 Library Lovers' キャンペーン (~ 11/19)	19 第 60 回九州地区医学図書館協議会総会(当番館)			
11	28 インストラクショナルデザイン研修	1 「橋本病」発見から 100 年 橋本策博士パネル展 (~ 25 日) 2 平成 24 年度第 3 回医学図書館運営委員会(書面回議) 30 第 21 回九州地区医学図書館員セミナー		21 第 4 回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	14 国立大学図書館協議会見学 16 日本図書館情報学会見学 26 第 1 回伊都図書館長候補者選考委員会(書面回議)
12	19 LSS 共催講演会 (第 13 回) 江戸版本書誌学の諸問題ー本学所蔵書籍を中心にー	4 平成 24 年度第 1 回日本医学図書館協会地区会事務局連絡会議			
H25 (2013) 1	23 LSS 共催講演会 (第 14 回)「高等教育の電子教材における他人の著作物の利用と問題点」 26 九州大学公開フォーラム「何のために学び、何のために伝えるのか」(池上彰氏講演会)		31 第 2 回芸術工学図書館セミナー(「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録に向けての映像制作活動)		7 第 2 回伊都図書館運営委員会(書面回議) 30 第 2 回伊都図書館長候補者選考委員会
2	1 イリノイ大学図書館(2 名) 来訪 8 インストラクショナルデザイン研修 20 LSS 共催講演会 (第 15 回) 武雄市図書館問題から考える図書館の現在ー一定管理者、個人情報・プライバシー保護をめぐってー 22 講演会「テイスカバリ・サービスの導入と新たな基盤整備」 24 MOOCs と電子図書館のための国際セミナー&ワークショップ (~ 25 日) 27 研究開発室活動発表会				
3	1 外務省日中歴史共同研究中国側委員来訪 6 インストラクショナルデザイン研修 12 カウンター一元化、「学習相談」カウンター設置 28 ウェブサイトをリニューアル	14 平成 24 年度第 4 回医学図書館運営委員会		19 第 5 回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	14 伊都キャンパスセンターゾーン防災訓練

(注) LSS 共催講演会 = ライブラリーサイエンス専攻との共催連続講演会「ライブラリーサイエンスの現在」

	文系合同図書室	記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
	25 第1回文学部図書委員会			26 電子ジャーナル等検討専門委員会(第1回)	19 九州地区国立大学図書館協会総会(鹿児島市) 20 九州地区大学図書館協議会総会(同上)
	23 第2回文学部図書委員会		8 第1回運営委員会	14 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会(第1回)	2 福岡県図書館協会担当者会 17 外国雑誌センター館会議(東京大学) 18 国立大学図書館協会人材委員会・総務委員会・図書系専門試験委員会・国立大学図書館協会新理事会(同上) 25 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(石橋美術館)
	9 日経 NEEDS 講習会 25 第1回経済研究室委員会		27 第2回運営委員会	12 電子ジャーナル等検討専門委員会(第2回) 18 研究開発室会議(第1回)	21 国立大学図書館協会総会(ANAクラウンプラザホテル神戸) 22 国立大学図書館協会マネジメントセミナー(神戸大学)
	2 第1回文系合同図書室運営委員会	27 第20回記録資料館運営委員会		10 館長会議 10 第208回附属図書館商議委員会 23 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会文系WG(第1回) 24 大型図書資料選定委員会(第1回) 25 全学図書系係長会議 26 学生用図書選定委員会(第1回)(書面回議)	28 九州地区国立大学図書館バレーボール大会(熊本大学)
	5 文系オープンキャンパス向け開室				7 国立大学図書館協会学術情報委員会(～8日 京都大学) 22 国立大学図書館協会人材委員会(東京大学)
			4 第3回運営委員会	12 大型図書資料選定委員会(第2回)	13 国立大学図書館協会総務委員会(東京大学) 20 国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会(名古屋大学) 27 大学における学習資源の利用についての研究会(KKRホテル東京)
	10 第3回文学部図書委員会	3 第21回記録資料館運営委員会 31 第22回記録資料館運営委員会		18 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会文系WG(第2回)	25 全国図書館大会島根大会(～26日 島根県民会館) 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(～26日 鹿児島大学)
	7 第4回文学部図書委員会 15 第2回文系合同図書室運営委員会(書面回議) 16 第2回経済研究室委員会			7 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会(第2回)	13 国立大学図書館協会秋季理事会・学術情報委員会・人材委員会(九州大学) 26 九州地区国立大学図書館協会附属図書館長・事務(部・課長)会議(九州大学)
	6 第5回文学部図書委員会			7 電子ジャーナル等検討専門委員会(第3回) 13 館長会議 13 第209回附属図書館商議委員会	3 国立大学図書館協会シンポジウム(千葉大学)
	15 第3回文系合同図書室運営委員会				23 国立七大学附属図書館協議会・国立七大学附属図書館長会議・国立大学七大学附属図書館事務部課長会議(京都大学) 24 国立大学図書館協会「学術情報流通セミナー」(東京大学)
		21 第23回記録資料館運営委員会	19 第4回運営委員会		8 アジア情報関係機関懇談会(国立国会図書館関西館) 20 JUSTICE 設立準備総会(一橋講堂)
	6 第6回文学部図書委員会 7 第4回文系合同図書室運営委員会(書面回議) 8 貴重書燻蒸(～13日) 9 書庫害虫駆除(～11日)		22 第5回運営委員会	8 館長会議 8 第210回附属図書館商議委員会 25 電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会(第3回)	

平成25(2013)年7月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY